

愛知県国際農友会だより

●平成 24 年度の活動を振り返って

●平成 24 年度の主な活動

- ◇平成 24 年度通常総会、◇海外派遣農業研修事業 60 周年記念大会、
- ◇新たな海外派遣農業研修生の発掘、◇平成 24 年度海外派遣農業研修生の激励、
- ◇海外派遣研修生の帰国、◇アセアン農業研修生の受け入れ、
- ◇東海・近畿・北陸ブロック国際化対応営農研究会

■発行日 平成 25 年 3 月 31 日

■発行人 愛知県国際農友会

平成 24 年度の活動を振り返って

～愛知県国際農友会活動について！～

会 長 天野 治（豊橋）



昭和 27 年に始まった派遣事業が 60 年を迎えるにあたり、本年度は事業を「海外派遣農業派遣研修事業 60 周年記念大会」に集約し、歴史を振り返り、未来に向けての新たなスタートの年と位置づけました。

大会には大村知事様はじめ多くの御来賓の皆様、そして 20 代から 80 代までの会員、その御家族の皆様に参加をいただき、楽しく盛大にできましたことにお礼申し上げます。

改めて派遣事業の意味、その凄さ、農友会の良さ、果たした役割を再認識していただけたと思います。このすばらしいメンバーの集まりである本会を誇りに思いますし、これからも新たな仲間の参加を願っています。

TPP を中心に農業を取り巻く環境は大きく変化しようとしています。自分の立位置を確認し、貴重な経験を生かし、共に取り組むのみです。

今後も本会の活動に対して関係機関の御指導・御支援をお願いいたしますとともに、会員の皆様の更なる飛躍、本会への御協力をお願いいたします。

平成 24 年度の主な活動

■ 平成 24 年度通常総会

6 月 1 日（金）、名古屋市の名古屋栄東急インで開催し、平成 23 年度事業報告と平成 24 年度事業計画などが承認されました。総会には、愛知県農林水産部長の中野幹也様を始め関係機関の方々に多数御出席いただき祝辞をいただきました。今回は、総会前に東海農政局の工藤課長補佐様から「人と農地の問題解決に向けた施策」に関する講演をいただきました。総会後には、平成 23 年度中に帰国されました海外派遣農業研修生の帰国報告会、平成 24 年度のアセアン農業研修生の歓迎会を行うとともに、引き続き交流会を開催し、会員相互の情報交換を図りました。



～海外派遣農業研修事業 60 周年記念大会を開催して～

副会長 杉浦 知広（西尾）

海外派遣農業研修事業が平成 24 年度に 60 周年を迎えたことから、より一層の会員間の連携強化を図り、本県農業の発展に資するとともに、引き続き海外での農業研修を志す元気な青年を支援するため、平成 25 年 2 月 5 日に名古屋市内にて「海外派遣農業研修事業 60 周年記念大会」を開催しました。

本県では昭和 27 年の第 1 回目から現在までの 60 年間、一度も途切れることなく 370 名余りの方を先進国であるアメリカや欧州諸国等に送り出しています。

<海外派遣農業研修事業 60 周年記念大会の概要>

- 日 時：平成 25 年 2 月 5 日（火）
- 場 所：名古屋栄東急イン オークルーム
- 参加人数：155 名（大村知事を始め東海農政局長など多くの来賓を招き、会員及びその家族が参加）

◆記念式典の概要◆

多くの会員から集めた研修当時の写真を年代別に整理した映像を放映し 60 年の歩みを確認しました。

大会宣言では、海外での農業研修を志す青年を途絶えることなく支援し、国内だけでなく世界との交流と社会貢献を事業が続く限り行うことを宣言しました。

◆交流会の概要◆

60 年の今昔物語として、第 1 回生（昭和 27 年）の小島正雄さんの研修映像を放映し、当時を振り返りながら、本人にご説明いただきました。また、第 60 回生（平成 23 年）の染川大輔さんのスイスからのビデオレターを放映しました。

お楽しみコーナーでは、海外の味を懐かしんでいただく「利きビール大会」や AKB 総選挙をまねて「じゃんけん大会」を行い、豪華な賞品を用意して大いに盛り上がりました。



60 年の映像



万歳三唱



このほか、「海外派遣農業研修生帰国報告会（3 名）」、「海外派遣農業研修予定者激励会（4 名）」、「アセアン農業研修生報告会（6 名）」を行い、久しぶりの旧友や先輩、後輩との再会を楽しみ、最後は万歳三唱で記念大会の幕を閉じました。

■ 新たな海外派遣農業研修生の発掘

7月10日に愛知県立農業大学校において、農大生を始め70名余りの参加者に対して、「海外派遣農業研修事業説明会」を開催しました。当日は、(公社)国際農業者交流協会の皆戸課長補佐様から事業内容や研修の様子を紹介いただくとともに、海外派遣農業研修体験者2名からアメリカ研修とドイツ研修の体験談をお話いただきました。

また、8月9日には、愛知県が行う「海外派遣農業研修生推薦選考会」に協力し、榊原理事(西尾支部)と浅井理事(豊田三好支部)が選考委員を務め、3名の受験者に対して審査を行い、いずれも優秀で、ただちに知事から(公社)国際農業者交流協会に推薦しました。



激励会

■ 平成24年度海外派遣農業研修生の激励

平成24年度は、スイス(1名)、オランダ(2名)、アメリカ(1名)へ派遣されることになりました。

平成25年2月5日に開催しました海外派遣農業研修事業60周年記念大会では、山本真規子さんを始め4名の方に参加いただき、研修への抱負などを語っていただきました。

平成24年度海外派遣農業研修生一覧

| 氏名 | 市町村 | 派遣制度 | 研修内容 |
|---------|------|-------------------|------|
| 山本 真規子 | 美浜町 | スイス・プラクティカル・コース | 酪農 |
| 斉藤 慶子 | 名古屋市 | オランダ・プラクティカル・コース | 酪農 |
| 山本 一徳 ※ | 豊川市 | オランダ・プラクティカル・コース | 切花 |
| 村田 佳祐 | 豊橋市 | アメリカ・コンビネーション・コース | 切花 |

※印は、当会からの推薦ではなく、(公社)国際農業者交流協会への一般応募

■ 海外派遣研修生の帰国

平成24年3月に平成22年度海外派遣農業研修生の前田法子さん(オランダ)、山岡鷹靖さん(ドイツ)の2名、9月には平成22年度海外派遣農業研修生の細井弘貴さん、伊藤綾花さん、塩見公崇さんの3名がアメリカから帰国されました。

6月の通常総会や2月の海外派遣農業研修事業60周年記念大会にあわせて行いました海外派遣農業研修生の帰国報告会では、5名の方に研修成果などを語っていただきました。

研修の詳しい内容や感想などについては、平成25年度通常総会で配付する平成22年度海外派遣農業研修生報告書「夢は大きく世界へ」を御覧ください。

海外派遣研修生帰国者

| 帰国者氏名 | 市町村 | 派遣先 | 研修内容 | 派遣研修期間 |
|---------|------|------|------|---------------|
| 前田 法子 | 刈谷市 | オランダ | 野菜 | H23. 3~H24. 3 |
| 山岡 鷹靖 ※ | 江南市 | ドイツ | 落葉果樹 | H23. 3~H24. 3 |
| 細井 弘貴 | 豊川市 | アメリカ | 野菜 | H23. 3~H24. 9 |
| 伊藤 綾花 | 清須市 | アメリカ | 鉢物 | H23. 3~H24. 9 |
| 塩見 公崇 ※ | 名古屋市 | アメリカ | 野菜 | H23. 3~H24. 9 |

※印は、当会からの推薦ではなく、(公社)国際農業者交流協会への一般応募

■ アセアン農業研修生の受け入れ



地方研修

(公社)国際農業者交流協会が実施している「アジア農業青年人材育成事業」により、本会の会員がアセアン諸国等の海外農業研修生を受け入れています。本年度は本県にタイとインドネシアから計6名の青年が訪れ、4月27日から約10ヶ月間、本県の各会員宅に滞在し、研修されました。帰国後は、日本で学んだことを生かしてほしいものです。

本会では、通常総会にあわせて6月1日に海外農業研修生歓迎会を開催したほか、海外派遣農業研修事業60周年記念大会にも研修生の皆さんに参加いただきました。

また、7月23日から24日にかけて、研修生受入農家を巡回訪問するとともに、協会から地方研修を委託され、10月18から

19日の2日間で、トヨタ博物館、愛知県農業総合試験場、産業技術記念館、キリンビアパーク名古屋で視察・研修を行い、日本の農業技術や産業、文化について学んでいただきました。

海外農業研修生と受入会員一覧

| 研修生氏名 | 出身 | 受入会員(支部名) | 作目 |
|------------------|--------|-----------|-------|
| ウォーラウィット サックリー | タイ | 平田正樹(西尾) | 切花 |
| パラドーン サクンパン | タイ | 宮地勝利(西尾) | 切花 |
| プーンサック ウェムスック | タイ | 横山賢一(尾張東) | 野菜 |
| アミン ロムドン | インドネシア | 永井祥一(田原) | 養鶏 |
| ムハammad ヌル シディック | インドネシア | 内藤完次(西尾) | 野菜 |
| ワハブ | インドネシア | 原 宜延(海部) | 切花、水稲 |

～東海・近畿・北陸ブロック国際化対応営農研究会に参加して～

会長 天野 治(豊橋)

「目指そう！個性を活かした強い農業を」をテーマに富山県において、2月12日に開催されました。基調講演は、鈴木宣弘氏(東京大学大学院教授)による「TPPは日本の農業に何をもたらすか」と題し、TPPの問題点・本質を鋭く熱く語っていただき、農業のみならず、日本全体の問題であるという思いを強くしました。事例発表として、「安全・安心・美味しい卵を柱とした新たな経営展開」と題し、(有)仁光園の島哲雄氏(S39米1)から、「こだわりの農と食をつなぐコミュニティカフェ」と題し、広野美代子氏(カフェ・ゴッコ代表)から発表があり、先見性のある経営、前向きな姿勢に学ぶことができました。

翌日は会長会議が開かれ、交流協会・各県組織の事業について意見交換を行いました。来年は兵庫県です。誰でも参加できます。

紹介コーナー

○愛知県国際農友会のホームページアドレス

<http://www42.tok2.com/home/nouyukai/index.html>

○公益社団法人国際農業者交流協会のホームページアドレス

<http://www.jaec.org/>